

区政と議会のホンネを報告!

# せたがや 1/50

〒157-0063 粕谷 3-15-3 (TEL&FAX 3307-1179)

グーグル検索等で、おおば正明 と入力すれば おおば正明 @ 世田谷区議 がヒットします。私のホームページです。

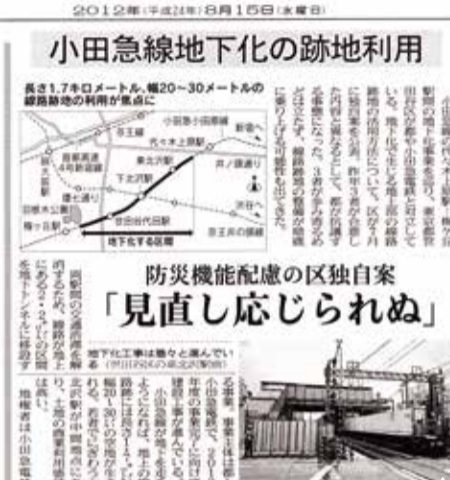
- 世田谷区の将来像
- 1位 災害に強い安全なまち
  - 2位 犯罪に強い安心なまち
  - 3位 道路・交通の充実したまち
- (2012年都市整備方針区民アンケート) 110ban@t3.rim.or.jp

役所情報・不正そのほかとんでもないことを御存知の方はメールで

http://www.t3.rim.or.jp/~110ban/  
 http://ooba.muse.bindsite.jp/  
**世田谷行革 110番**  
 世田谷区議会議員 **おおば正明**  
**第51号 2013年3月**

## やっぱりゴメンナサイの保坂区長

### 小田急線跡地交渉振り出しに 結局区民の利益にならなかった区長のパフォーマンス



都電鉄、世田谷区と対立



今年3月23日に小田急線が梅丘から新宿に向かって地下に潜りました。世田谷代田、下北沢、東北沢の地上駅も地下に潜り、これまで走っていた地表部分は長大な跡地となります。

基本的には小田急電鉄の土地

2012年8月15日読売新聞

他人の土地に許可もなく区長が独断で計画図を発表!見直し応じられぬと強気だった...

↑ 上記の通り、小田急電鉄側にあやまっていたのです。結局、跡地の利用計画については仕切り直しになりました。昨年7月からの騒動と時間の空費。実害もあります。交渉が進まないために国に対する7千万円にもものぼる補助金申請を逃した。環七の横断橋の工事で補正予算を組む事になったこと等々。税金の無駄使い、職員の無駄働き、対外的な信頼関係の失墜と保坂区長の手がけることはボロボロというのが実情です。

7月の公表した件について合意なく公表しご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。  
 平成23年10月19日世田谷区長 保坂展人

## 区の「基本構想」策定が今年の火種か?

基本構想とは・・・世田谷区の20年後の望ましい将来像の実現に向けて作られる区政の基本的な指針。以前は策定が義務付けられていたが、平成23年5月の地方自治法の改正により策定義務がなくなり自治体の判断に任せられるようになった。現在の基本構想は平成6年に策定

2011年4月4日東京新聞



築52年の本庁舎を今後20年間は建て替えない?

実は世田谷区の今後20年を視野に入れた基本構想が策定されつつありますが、実態は百家争鳴。そもそも審議委員が多すぎて「船頭多くして船山に登る」状態。收拾がとれないにもかかわらず保坂区長は今年9月の議会議決を強行しようとしています。こんな「未消化状態」で基本構想を作り上げて良いのでしょうか?

しかも東日本大震災後に各自治体の災害対策本部機能が改めて見直されている中、もはや23区最古といわれる世田谷区の本庁舎を今後20年間にどうするか、という課題がこの基本構想からスッポリ抜け落ちているのです。私たちの会派は少なくとも本庁舎をどうするか検討を始めよ、と言い続けていますが保坂区長は馬耳東風。新庁舎は大型開発に似ているとでも思っているのでしょうか。このままでは改修費に莫大な金額を要し、さらにそれでも20年後くらいには建替えをせざるを得ない二重投資という最悪の状態に陥ります。実際、首都直下の場合、倒壊はしないまでも現状では使い物にならないことは明らかです。左上の記事は東日本大震災で倒壊しなかったものの「今後倒壊の危険性あり」とされ、閉鎖された多くの庁舎を伝えた新聞です。そのために復旧が遅れたことは言うまでもありません。人権という言葉には敏感な保坂区長ですが、首都直下直後の88万世田谷区民の人権は万全なのでしょうか?

## 区長の新目玉政策 「環境モデル都市」の挫折!



しばんで消えてしまった大型開発見直し公約に替えて、保坂区長が新たに打ち出した目玉政策の一つが「環境モデル都市」。昨年11月の本会議で区長はこう述べています。

「世田谷区は住宅都市という性格を踏まえ“緑ゆたかな住環境”を基本に区民の暮らしの中から生まれる二酸化炭素の削減にフォーカスしたプランを作成しました」と。そして提出期限の10月19日に内閣府に申請書を提出したと。

『環境モデル都市』とは日本が目指すべき低炭素社会の姿を、具体的に分かりやすく示すことを目的に、温室効果ガスを大幅に削減する、高い目標を掲げ、先駆的な取組みにチャレンジする都市を募集し国が選定する制度。

選定されたのは、つくば市 新潟市 御嵩町 神戸市 尼崎市 西粟倉村 松山市

## 25都市がエントリー、7都市が選定に

内閣官房地域活性化統合事務局から、その選定結果が出たのが今年3月15日。内容は「先般ご提出いただいた環境モデル都市の提案について残念ながら選定の対象となりませんでしたのでお知らせします。」世田谷区はいったいどんなプランを提案したのでしょうか?

### - 世田谷の評価結果を読む -



内閣官房から届いた世田谷区の主な落選理由(評価)は次の通りです。

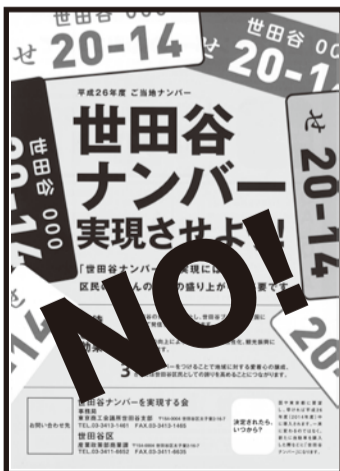
●まちづくりの視点が弱い●モデル性・先導性の高い取組みが少ない印象●住宅都市としての斬新なモデル地区として多少インパクトに欠けるか●3万件の空き家、空室が課題。既築住宅の環境性能向上をいかに進めるかが見えない●断熱改修支援は良い。ただしある程度の規模感をもって進められるかが不明●空き家の利用はいいがストック戦略が見えない●住宅リノベーションとライフスタイル転換が主で削減目標を構築しているが、想定する立替規模を考えればコンパクト都市や地区のエネルギーマネジメントシステムなどの提案が有効であり、検討が必要では●現在のストック対策を中心の短期的な取組みが中心であり、長期的な地域エネルギー戦略、統合的なアプローチ、地域市民力の活用などの計画が求められる。

## まるで保坂区政の評価と見間違えるほど

昨年11月の本会議での保坂区長の勢いとは程遠い「散々な酷評」と言えます。ちなみに当選した自治体の評価は、総じて「実現可能性が高い」「モデル性が高い」という言葉があります。

なにやら保坂区政の本質を突いているようで、空恐ろしい感じもします。もちろんプランそのものは保坂区長が作ったのではなく、担当部署の役人が作成したのでしょう。しかし目玉プランが区長の意向とは関係なく作られるはずはありません。では区の職員の能力が劣っていたのでしょうか?実際にはこの部署には区役所でも優秀な職員が配置されています。にもかかわらず、こんな評価が下るとは。過去には考えられないことです。区役所の中で、職員の能力が発揮できない状態に陥っているのではないのでしょうか。

知ってました?



## 世田谷ナンバー実現すると全区民が世田谷ナンバー強制 品川ナンバーを今後選ぶことはできません!

保坂区長は区内の産業団体の要請を受けて、現在の「品川ナンバー」から「世田谷ナンバー」の実現に邁進しています■実現すれば26年度から世田谷ナンバーは強制となり、品川ナンバーは選べなくなります■「品川ナンバー」は現在、千代田区、中央区、港区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、そして世田谷区で「ブロックナンバー」として使われています■(因みに実現したら、これらの地域からの移転・転入の際には、有料でナンバープレートを変えなければならなくなります)■保坂区長は「変える目的として「世田谷ブランドの普及」を挙げ、具体的には「産業活性化」「観光振興」そして何よりも「世田谷区民の一体感と世田谷区に対する愛着心の醸成」に効果があるとか■ホントでしょうか?■さらに気になるのは、「世田谷ナンバー」のクルマは都内で唯一、住んでいる所が世田谷区とわかるクルマになるということです■ことさら「私世田谷区民です」と言って都内を走る感覚、しかも区民全員が(強制的に)走らされるのって滑稽ではないでしょうか■世田谷区は観光地ではありません■(むしろ犯罪者に目を付けられる懸念のほうが高いかも知れません!)